



学校通信

令和2年度 第5号
令和2年 7月31日
練馬区立開進第三小学校
校長 岡部 良美



「自分事」で学ぶ子供の姿

校長 岡部 良美

1学期が終了します。子供たちはコロナ禍において新しい生活様式をしっかりと意識・理解して学校生活を送っていました。

本校は、『思いや願い・課題をもち、探究する子供を育成する』学習指導を進めています。それを可能にするのが『よいところみつけ名人』の取組であり『振り返り名人』の取組でもあります。また、保護者や地域の方々と協働してよりよい学校教育を進める『社会に開かれた教育課程』の創造、『探究』過程を重視した学習計画でもあります。

7月29日に5年生の総合的な学習の時間で、『防災』を学習課題とした研究授業が行われました。1組の子供たちの授業を全教員で参観し、一人ひとりの子供が思考する姿や考えが深まっていく様子を、その子を見取る教員を一对一で定め観察・記録しました。この学習の到達点は、教育目標にある『誇りと自信をもって、よりよい社会の創り手』に子供たちがなることです。『防災』という観点から、自分自身を見つめ、地域を見つめ、地域の一員として自他の生命を尊重し、地域の安全に役立つために働きかける思考力・判断力・表現発信力や主体的に取り組む態度を育てることをねらっています。

この『防災』の学習活動は25時間の予定となっています。『防災』『災害』についての子供一人ひとりの知識や理解は様々です。そこで1時間目に子供一人ひとりが災害について、メカニズム、過去の出来事や人々の生活への影響を調べることから始めました。そこから地域で起こる可能性がある『災害』を調べ発表してきました。そしてこの研究授業は全体の8時間目。「調べ、発表した内容を改めて見直し、自分たちが取り組む『防災』について話し合い、地域への思いや貢献への意欲を高めていきました。

子供の学習の振り返りを表現した文章です。今ではすっかり自分事になっています。

- 身近なものでも、たくさん危険なものがあることが分かった。まだ災害は起きていないけれど、いつ起こるか分からないので、早めに地域の人に教えたいと思う。
- 自分たちでは「ここは安全じゃないか」、「ここは危険じゃないか」と言い合ってみたが、考えてみると全部は危険でないと思うが、いっぱい危険があるはず。
- 近所の人たちや自分たちができることを考えて、発表できるように、近所の人たちに聞けることは聞いてみようと思った。
- 近所の危険な場所、学校の危険な所を調べて地図などにしてみたい。
- 安全なところがたくさんあるが、災害が起きたら安心せずにできることをやるのが大切。
- 消防士さんに話を聞いて、自分たちの考えに生かしたい。
- やらないといけないことがたくさんあることが分かった。もっと詳しく調べてみたい。

まだ地域に出て、調査はしていません。子供たちはうずうずしています。

テレビなどの映像から『災害』の様子や実態を見ることはできても、体験や真剣に見たり考えたりして見なければ実感できないことがあります。生活する地域のことであれば地域の一員として考えるとなれば、子供たちは自分事になります。子供たちはスパイラル的に学びを進め、深めていきます。この学習活動の最後には、地域や練馬区への提言が待っています。校長室前に、この学習の探究の過程を掲示しています。

明日より3週間の夏休みです。自分事の夏休みを過ごしてほしいと思います。

- 【ご連絡】新型コロナウイルス感染およびPCR検査を受けることになった場合の学校への連絡方法
- ☆ 夏季休業期間の平日は、午前8時から午後4時30分の時間に電話で。(学校休務日期間を除く)
 - ☆ 土曜・日曜、および8月7日から19日までの学校休務日期間は、8月20日に電話で。